

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	A.T	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	4年	派遣国	イギリス
派遣大学	De Montfort University		
期間	2022年 9月 19日～ 2023年 6月 30日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	△(暖のみ)	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (7万) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(歩き) で、約 (7) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	35000円	(スーパー、外食)
学用品購入費	0円	
交通費	5000円	(電車、バス)
交際費	25000円	(外食、クラブ、バー)
その他	5000円	(ジム代、衣類代)
合計	70000円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安状況は極めてよかった。大学近くの寮に住んでいるため、大学との距離も近く、また電灯も常に点灯しているので危険な目に遭ったことは一度もない。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(103,930) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	海外旅行保険		
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (Leicester) イギリスの中心に位置する街であり、住むには非常に快適な街であると感じた。 寮からシティセンターまでも距離が近く、歩いて 20 分ほどで簡単に遊びに出かけられるのもいいところの一つであると思う。 自然が豊かで川にはいつも白鳥が泳いでいたり、並木道があったりなど、ストレスフリーな生活をしやすいと感じた。 また、レスタースタジアムというサッカーグラウンドが近くにあり、レスターの試合がある日はサポーターたちがスタジアムにユニフォームを着て応援に駆けつけるを見たら、住民の街に対する愛を感じて心が温かくなった。
--

【学業編】

1. 大学情報

大学	De Montfort University	所在地	Leicester
最寄空港	Stansted	空港からの距離	3 hours bus
空港⇄大学	(bus or train) *移動手段		
学生数	27000	留学生数	2700
学部	<ul style="list-style-type: none"> • Faculty of Art, Design and Humanities. • Faculty of Business and Law. • Faculty of Health and Life Sciences. • Computing, Engineering and Media (CEM) • Governance. <p style="text-align: right;">*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		
学部/専攻	<p>Computing</p> <p style="text-align: right;">*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	英語の勉強	英語の勉強	英語の勉強	英語の勉強	英語の勉強
午後	英語の勉強	英語の勉強	英語の勉強	英語の勉強	英語の勉強

② (1)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	英語の勉強	英語の勉強	英語の勉強	英語の勉強	英語の勉強
午後	ネットワーキングの勉強	ネットワーキングの勉強	ネットワーキングの勉強	ネットワーキングの勉強	ネットワーキングの勉強

3. 履修内容

科目	Multi-Service Networks 1		
履修期間	1 term	単位数	15 credits
授業内容／形態	<p>The module provides a comprehensive analysis of problems and solutions found in modern networks and covers the communication stack (Physical, Data-link and Network layers). The module concentrates largely on the TCP/IP networks while the subnet covers recent and emerging developments in LANs, MANs and WANs, for both fixed and wireless network technologies. The Internet will be used as the driving vehicle to deliver the module. Familiarity is assumed with the basic concepts, but not necessarily the detail of data communications and the mechanisms by which a communications subnet transfers data segments between remote machines. Typically, these will have been studied in Year 2 modules but this is not a pre-requisite. The module does have a strong software and algorithms orientation. Cisco technologies (Cisco Routers and Switches and Cisco Packet Tracer) will be used within the labs and tutorials.</p>		
成績	65		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Multi-Service Networks 2		
履修期間	2 term	単位数	15 credits
授業内容／形態	Continuation of a Multi-Service Networks 1		
成績	29		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Interaction Design
----	--------------------

履修期間	Term 1	単位数	15 credits
授業内容／形態	<p>The module aims to teach key concepts and techniques for designing and evaluating interactive systems to achieve successful human computer interactions. Designing user interfaces that users can understand immediately and learn easily, and enable them to carry out tasks smoothly and efficiently without excessive effort or stress, is a crucial part of software development. Failures of design can cause technically successful systems to fail in practical use. User interface development frequently eats a large chunk of the development budget, and large projects employ many user interface design and user experience specialists - and systems analysts and technical developers need to be able to talk to them while many non-specialist software developers find themselves needing to tackle interface design problems.</p>		
成績	9		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Database Management and Programming		
履修期間	Term 2	単位数	15 credits
授業内容／形態	<p>This lesson focuses on teaching students about the principles, techniques, and practical aspects of managing and programming with databases. Databases are structured collections of data that are organized, stored, and managed to provide efficient data retrieval and manipulation.</p>		
成績	0		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Information and Communication Technologies for Development		
履修期間	Term 2	単位数	15 credits

授業内容／形態	This lesson focuses on understanding how information and communication technologies can be leveraged to promote development and address societal challenges in various regions and communities, especially in the context of developing countries. This course explores how technology can be harnessed to improve education, healthcare, governance, agriculture, entrepreneurship, and other key sectors in underserved or resource-constrained areas.		
成績	37		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Fuzzy Logic and Knowledge Based Systems		
履修期間	Term 1	単位数	15 credits
授業内容／形態	Fuzzy logic is a technique for modelling uncertainty and imprecision and appears in many applications for example in consumer products such as washing machines and camcorders. The ideas behind fuzzy logic use the notion that the world is not precise and that the ability to model words like hot, tall and expensive is very difficult using conventional mathematical techniques. The student will gain an understanding of fuzzy sets and how these are used in systems that contain fuzzy if-then rules for decision making.		
成績	0		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	IT services Practice		
履修期間	Term 2	単位数	15 credits
授業内容／形態	This refers to a subject that covers the principles, frameworks, methodologies, and best practices for managing and delivering information technology (IT) services within an organization. This course aims to provide students with a comprehensive understanding of how IT services are planned, implemented, monitored, and improved to meet the needs of both internal and external stakeholders.		

成績	0	
YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

科目	Computer Ethics and Privacy		
履修期間	Term 1	単位数	15 credits
授業内容／形態	<p>The aim of this module is to provide an opportunity for the student to explore the concepts of ethics, privacy and data protection in the context of IT, IS, Business Information Systems and other related disciplines. The module engages students critically with the underpinning ethical and social responsibility issues surrounding advances in ICT. Therefore, responsible research and innovation (RRI) will be central to the modules approach. The module considers in detail how technological development must include the ethical, privacy and data protection issues that often arise, and how professional codes of conduct/ethics alongside an RRI approach can inform ethical policy making and promote ethical behaviour.</p>		
成績	0		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	AT	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	3年—4年	派遣国	イギリス
派遣大学	De Montfort University		
期 間	2022年 9月 19日 ~ 2023年 6月 30日		
プログラム	交換留学プログラム		

<留学先大学での履修内容> → 同上

科目	
講義内容	
科目	
講義内容	
科目	
講義内容	
科目	
講義内容	
科目	
講義内容	
科目	
講義内容	

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

まず正直な感想としては、自分の英語力が圧倒的に不足していたことが最も悔いが残ることです。留学に行く条件として IELTS overall 6.0 を取るのが求められていました。留学に行く前の私は、そのスコアを取ることが目的の全てでした。そして無事にそのスコアを取った後、だらけてしまったのです。その状態で留学を始めましたが、最初の3ヶ月は非常に大変で辛い時期でした。そもそもの英語力が不十分であったため、イギリスアクセントや大学の専門用語の前に日常会話すらままならない状態でした。もちろんそんな状態で大学の授業を理解し、単位を取ることは不可能でした。そこで自身の身の丈にあった目的をその都度作り、その目的に向けて日々努力をすることを続けました。英語の勉強は単語や文法はもちろんのこと、発音にも注意をして勉強しました。余暇の時間では、国による英語のアクセントの違いについて取り上げている YouTuber ダイジローの動画をよく視聴していました。また、英語が話せないなりにアクティブに動くことを大切に行動していました。運がいいことに交換留学生のイベントに積極的に参加したことで、たくさんの交換留学生と友達になることができました。また現地の学生とも寮生活を通じて仲良くなることができ、たくさんの友達を作ることができました。基本的に私の留学生活は、英語学習とコンピューター関連の専門知識の勉強と同立して、イギリスでしかできない経験をするということでした。勉強以外に何よりも意識していたのは英語をアウトプットする機会を意識的に作り出すということでした。イギリスにいれば自然とアウトプットする機会は生まれると思われませんが、一日中寮で勉強するという生活もザラにありました。なので基本的に1日一回は友達とパブに出かけたり、ご飯を食べにいったりなど意識していました。

留学生活を通して学んだことは、達成可能な目標をきめ、それに向かってコツコツ毎日努力し続けることです。そのやり方を通じて、英語力も向上できましたし、コンピューターネットワークの資格も取得することができました。これからもこのことを心に刻みながら、日々成長していきたいと思っています。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

帰国後無事にコンピュータネットワークの資格を取得しました。私はキャリアをネットワークインフラエンジニアとしてスタートすることを目指しています。日本の就活はいい意味で言えばポテンシャル採用であるため、大学在学中に専門性を身につけなくても企業は採用してくれる可能性が高いです。一方海外で就職をするとなったら、即戦力が当たり前で求められます。その事実に関連して、海外の大学生は専門性を身につけるために、日本の大学生とは雲泥の差くらい勉強していました。私は若いうちから専門性を身につけ、その専門性を活かして海外で働きたいと考えています。そのため大学在学中の時間がある時に自身のキャリアをスタートさせる上で、知識ベースで使えるコンピュータネットワークの資格を取得しました。今後の展望としては、さらに自身のキャリアに必要とされるスキルや専門性の習得に加え、継続的に英語の勉強をすることで、海外で働けるキャリアパーソンになることを目指しています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

私にとってこのイギリス交換留学の経験が初めての海外経験でした。そのため海外で話される本当の英語というものを正直舐めていました。IELTSの条件を満たしておけば、とりあえずなんとかなるだろうという安直な考えでいたため、実際に留学が始まり授業に参加してから本当に絶望しました。という経験から後輩に言えることは、留学に行く前から死ぬ気で英語の勉強を頑張っておきたいということです。目標は海外ドラマや洋画を字幕なしで80%以上わかるレベルになることかなと体感で思っています。そうすることができれば、いくら授業内容が難しくても時間をかけて必死に勉強すればなんとかならなっていくと思います。私の場合は最初の授業の時点で、授業の内容以前の問題で何を言っているかがわからなかったため、授業の中で自分がどこでわからなくなったのかもわからないという状態でした。もし留学が始まる前に死ぬ気で英語を勉強し、しっかりと準備をしたかったと後悔しているので、そういった後悔をする後輩がすくなることを祈ってアドバイスを終わりにします。